

## 広域ブロック政策研究会における主な論点（案）

### 1. 広域ブロックの自立的発展のあり方

- 自立的に発展する広域ブロックとして、どのような状態を目指すべきか。特に、人口・人材、製造・研究・経営管理機能、消費・投資構造、ゲートウェイ機能等において、どのような状態を目指すべきか。その他、自立的発展を図る上で考慮すべき視点があるか。
- 上記の観点から見て、各広域ブロックの現状の課題は何か。
- 広域ブロックの自立的発展、地域間の均衡ある発展等に関するこれまでの施策はどのような成果を上げてきたか、また、十分な成果を達成できなかった施策については、何が原因であったのか。
- 自立的発展を図っていくためには、広域ブロック内でどのような圏域構造や地域相互の連携を目指すべきか。成長エンジンがブロック全体を牽引し、その波及効果を広めていくという圏域構造を目指すことでよいのか。他に考慮すべき視点はなにか。
- 広域ブロックの自立的発展を進めるための実施主体、統計の整備など、ブロック単位で政策を進めていくためのソフトインフラはどのようにあるべきか。また、ブロック間の調整など、ブロックをまたぐ国の役割は何か。
- 広域ブロックの自立的発展、あるいは、その他の観点から見て、三大都市圏について、地方圏とは異なる政策的対応が今後とも必要か。

### 2. 広域ブロックを牽引する成長エンジンのあり方

- 成長エンジンとして、どのような機能で広域ブロックを牽引していくべきか。特に、製造機能に加えて、ブロックの牽引に重要な機能として研究開発機能、経営管理機能が考えられるが、不十分な点はないか。これらの機能の所在範囲や分布をどう考えるか。
- 成長エンジンとして必要な機能を備えていくにあたって、それらの機能が所在する各広域のポテンシャルとしてどのような要素（立地基盤、オフィス・生活コスト、生活環境等）があるか。
- このような成長エンジンとして必要な機能を発揮させるためにはどのような施策を講ずべきか。また、どのような課題があるか。
  - ・ 特に、高度な知識・技術等を有する人材の定着、研究開発機能の立地、経営管理機能の立地、高度な対事業所サービスの立地を進めるには、立地施設・基盤、大学と企業の連携、居住環境、企業不動産戦略等の分野でどのようなインセンティブが必要か。また、どのような体制の構築が必要か。
  - ・ 特に過去の拠点開発方式とは異なり、既存インフラ・施設を最大限活用していくには、どのようなインセンティブが有効か。
- 国として、どのような牽引機能について、どのようなインセンティブ（助成、税制、規制等）を付与すべきか。

### 3. 広域ブロック内の各地域の連携・発展のあり方

- 広域ブロック内の各地域に成長エンジンからの効果を波及させ、必要な経済機能等を維持していくためには、どのような施策を講ずべきか。成長エンジンを担う企業等の製造工場、関連企業、それらを支える人材育成の集積をどのように進めていくべきか。
- 成長エンジンに必ずしも依存しない、例えば、地方大学や高専の協働化、企業誘致を支える人材育成・確保などの広域連携・交流、地方の人材の誘致などにおいて、どのような課題を抱えているか。また、どのような施策が必要か。
- 特に経済や雇用情勢が厳しい地方中核都市圏等についても、一般的な地域と同様な政策メニューで企業立地等による発展を進めていくことで十分か。